公益社団法人 川口青年会議所
第182回通常総会 資料

2025年9月6日(土) 14時00分開会
川口市立青木会館 会議室A

公益社団法人 川口青年会議所
第182回通常総会 次第

日 時：2025年9月6日（土）
開会14時00分 閉会16時00分
会 場：川口市立青木会館3階 会議室A
運営担当：総務広報委員会
司 会：小松 将人 君

1. 点鐘	第61代理事長 瀬川 智広 君
2. 開会宣言	伊藤 孝弘 君
3. 国歌斉唱	
4. JCソング斉唱	
5. JCI Creed 唱和	小見山祐紀 君
6. JCI Mission並びにJCI Vision 唱和	内田 爽 君
7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和	廣瀬 秋馬 君
8. 関東地区宣言唱和	大山 涼太 君
9. オブザーバー紹介	
10. 理事長挨拶	第61代理事長 瀬川 智広 君
11. 理事長「育LOM」宣言	第61代理事長 瀬川 智広 君
12. 3分間スピーチ	内田 爽 君
13. 正会員認証	
14. 会員慶事	
15. 次年度理事長予定者への当選証書授与	
16. 推薦人スピーチ	

～レイアウト変更～

17. 議事
- 議長の選出
 - 資料の確認及び定足数の確認
 - 議事録作成者及び署名人の指名
 - 4-1. 除名者（案）承認に関する件
 - 4-2. 定款変更（案）承認に関する件
 - 4-3. 2025年度補正収支予算書（案）承認に関する件
 - 4-4. 2026年度理事 中村 光彦 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-5. 2026年度理事 飯嶋 大祐 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-6. 2026年度理事 伊藤 孝弘 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-7. 2026年度理事 細野 信隆 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-8. 2026年度理事 上原 康太 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-9. 2026年度理事 大山 涼太 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-10. 2026年度理事 小松 将人 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-11. 2026年度理事 廣瀬 秋馬 君 選任（案）承認に関する件
 - 4-12. 2026年度理事 内田 爽 君 選任（案）承認に関する件

- 4-13. 2026年度理事 持田 圭佑 君 選任（案）承認に関する件
- 4-14. 2026年度直前理事長 瀬川 智広 君 選任（案）承認に関する件
- 4-15. 2026年度監事 永井 光義 君 選任（案）承認に関する件
- 4-16. 2026年度監事 廣瀬 翔 君 選任（案）承認に関する件
- 4-17. 2026年度理事長候補者選出（案）承認に関する件
- 4-18. 2026年度組織図（案）承認に関する件
- 4-19. 法人格の選択（案）承認に関する件
- 4-20. 第57回ブロック大会主管立候補（案）承認に関する件

～レイアウト変更～

- 18. 次年度役員紹介
- 19. 出向者報告
- 20. 連絡報告事項
- 21. 次回例会案内 会員研修委員会
- 22. 出席率並びにニコニコBOX発表 内田 爽 君
- 23. 監事講評 監事 永井 光義 君
- 24. 若い我等斉唱
- 25. 閉会宣言 伊藤 孝弘 君
- 26. 点鐘 第61代理事長 瀬川 智広 君

審議－ 1 公益社団法人川口青年会議所
除名者（案）承認に関する件

除名承認に関する件

除名者 *****

入会 *****

生年月日 *****

除名理由 定款第10条第1項第1号

内 容 2024年度後期会費納入義務不履行(72,000円)

2025年度前期会費納入義務不履行(72,000円)

審議－２ 公益社団法人川口青年会議所
定款変更（案）承認に関する件

公益社団法人川口青年会議所 定款変更（案）

変更前（2023年12月6日時点）	変更案
<p>（総会の議事録） 第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2. 理事長、議長及び当該総会において選任された2名以上の理事は、前項の議事録に記名押印する。</p> <p>（役員の設定） 第21条 この法人に、次の役員を置く。 （1）理事10名以上20名以内 以下略</p> <p>（役員を選任） 第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。 2. 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。</p> <p>（理事会の議事録） 第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2. 出席した理事長、監事及び当該理事会において議事録署名人に選任された理事2名は、前項の議事録に記名押印する。</p>	<p>（総会の議事録） 第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2. 理事長、議長及び当該総会において選任された2名以上の理事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。</p> <p>（役員の設定） 第21条 この法人に、次の役員を置く。 （1）理事6名以上20名以内 以下略</p> <p>（役員を選任） 第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。 2. 理事長、副理事長及び専務理事は、<u>総会</u>の決議によって理事の中から選定する。</p> <p>（理事会の議事録） 第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 2. 出席した理事長、監事及び当該理事会において議事録署名人に選任された理事2名は、前項の議事録に<u>署名又は記名</u>押印する。</p>

<変更理由>

1. 会員数の減少により理事の最少人数を変更する必要があるため。（第21条）
2. 官公庁や民間企業でも押印廃止の傾向にあるなかで、議事録の確認について記名押印だけではなく署名でも可とするため。（第20条、第36条）
3. 従来より実質的には総会の中で理事長等を選定しているが、形式的に1月1日にみなし理事会を開催し、理事会で理事長を選定しているところ、内容と実質を合わせ、総会にて理事長を選定できるようにするため。（第22条）

審議－ 3

公益社団法人川口青年会議所

2025年度 補正収支予算書（案）承認に関する件

公益社団法人川口青年会議所 補正収支予算書(案)計画方針

(2025年1月1日～2025年12月31日)

収入の部

1	受取入会金の増額	2025年度7月までの入会者増に伴う変更。
2	新入会員受取会費の増額	2025年度7月までの入会者増に伴う変更。
3	登録料収入の増額	第4回サイクルロゲイニングin川口の参加費見直しに伴う変更。
4	寄付金収入の減額	クラウドファンディング事業見直しに伴う変更。
5	協賛金収入の減額	第4回サイクルロゲイニングin川口の協賛内容見直しに伴う変更。

支出の部

1	事務委託費の減額	司法書士料金減に伴う変更。
2	諸会費の増額	川口青年経済人連絡協議会の会費単価増に伴う変更。
3	JCI負担金の増額	JCI会費単価増に伴う変更。
4	日本JC負担金の増額	「未来の青年会議所を創る協力金」の創設に伴う変更。
5	雑誌購読料の増額	2025年度7月までの入会者増に伴う変更。

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	30,000 × 26 名(正会員承認見込数)		780,000	780,000		修正
						780,000
受取会費						
正会員受取会費	144,000 × 31 名(休会者を含む期首正会員数)		4,464,000			
	-60,000 × 1 名(会員資格規定第9条2に基づき1~5月分の会費免除)		-60,000			
	-144,000 × 0 名(前期退会者)		0	4,404,000		
	-72,000 × 0 名(後期退会者)		0			
新入会員受取会費 12,000円/月	144,000 × 0 名(1月入会)		0			修正
	120,000 × 1 名(2月入会)		120,000			
	108,000 × 0 名(3月入会)		0			修正
	96,000 × 6 名(4月入会)		576,000			修正
	84,000 × 2 名(5月入会)		168,000			
	72,000 × 1 名(6月入会)		72,000	1,896,000		修正
	60,000 × 16 名(7月入会)		960,000			修正
	48,000 × 名(8月入会)		0			修正
	36,000 × 名(9月入会)		0			修正
	24,000 × 名(10月入会)		0			修正
	12,000 × 名(11月入会)		0			修正
特別会員受取会費	30,000 × 4 名(前年度ご卒業生)		120,000	120,000		
賛助会員受取会費			0	0		
シニアクラブ会費収入			1,500,000	1,500,000		
						7,920,000
事業収入						
登録料収入						
	第4回サイクルロゲイニングin川口(一般)	4,000 × 100 人	400,000			修正
	第4回サイクルロゲイニングin川口(高校生・中学生)	2,000 × 15 人	30,000	482,500		修正
	第4回サイクルロゲイニングin川口(小学生)	1,500 × 35 人	52,500			修正
広告料収入						
	公式サイト/バナー広告	20,000 × 15 社	300,000	300,000		
						782,500
受取寄付金						
寄付金収入						
	クラウドファンディング	11,100 × 10 口	111,000			修正
	クラウドファンディング	5,000 × 10 口	50,000	202,100		修正
	クラウドファンディング	3,000 × 10 口	30,000			修正
	クラウドファンディング	1,110 × 10 口	11,100			修正
協賛金収入						
	第4回サイクルロゲイニングin川口 メディアボード	30,000 × 6 社	180,000			修正
	第4回サイクルロゲイニングin川口 エアアーチ	50,000 × 6 社	300,000	580,000		修正
	第4回サイクルロゲイニングin川口 パンフレット	5,000 × 20 社	100,000			
補助金収入						
	川口市	200,000 × 1	200,000	200,000		
						982,100
雑収入						
受取利息収入	14 × 1		14	14		
その他雑収入	川口青年経済人連絡協議会事務局委託費	10,800 × 12 ヶ月	129,600	129,600		
	自動販売機設置料	8,470 × 1	8,470	8,470		
						138,084
経常収益計						10,602,684
(2) 経常費用						
事業費						
	1. 会員拡大特別委員会		205,000			
	2. 青少年育成会議		1,000,000			
	3. 会員研修委員会		1,200,000	3,665,000		
	4. 総務広報委員会		1,260,000			
	5. 専務室		0			
						3,665,000
管理費						
通信・発送費 例会及び理事会通知等			120,000	120,000		
消耗品費 JCI手帳700円×(出向者数+αを含む)、消耗品、印刷費			366,000	366,000		
賃借料 事務局内資料支出			1,562,376	1,562,376		
ホームページ管理・制作 Xサーバーレンタル料(1,100円/月)	130,198 × 12		13,200	13,200		
	1. 会員拡大特別委員会		5,000			
	2. 青少年育成会議		20,000			
	3. 会員研修委員会		10,000			
	4. 総務広報委員会		20,000	132,700		
	5. 選挙管理委員会		7,700			
	6. 理事会		0			
	7. 総会		70,000			
水道光熱費 水道代、電気代、固定電話代、損害保険料	200,000 × 1		200,000	200,000		
給与手当 ①基本計算=1,078円×4.5時間×16日×12ヶ月 ②残業代=1,078円×3時間×12ヶ月	80,850 × 12		970,200	970,200		
雑費 名札台紙(99円×110枚=10,890円)、振込手数料等			100,000	100,000		
	入会案内パンフレット	14,850 × 1	14,850			
	広報費 会員募集ポスター	60,000 × 1	60,000	314,850		
	インターネット広告(30,000円×8ヶ月)	30,000 × 8	240,000			
	渉外費 京都会議	8,000 × 1	8,000	8,000		
	慶弔費 結婚・出産お祝い、香典等	10,000 × 3	30,000	30,000		
	税理士	10,000 × 12 ヶ月	120,000			
	事務委託費 社労士	6,600 × 1	6,600	136,600		
	司法書士	10,000 × 1	10,000			修正
	諸会費 川口青年経済人連絡協議会(当年4月1日時点の会員数)	1,700 × 32 名	54,400	199,400		修正
	諸団体事業協賛金	145,000 × 1	145,000			
手帳作成費 現役31+新入20+シニアクラブ280+予備29	748 × 360 冊		269,280	269,280		
JCI負担金						
	①基本額	30,000 × 1	30,000			
	②付加金	5,000 × 31 名(継続会員)	155,000			
	日本JC負担金	5,000 × 10 名(前期新入会員)	50,000	321,500		
		2,500 × 16 名(後期新入会員)	40,000			修正
	③2025年度 未来の青年会議所を創る協力金	1,500 × 31 名(継続会員)	46,500			修正
	①基本額	10,000 × 1	10,000			
	関東地区負担金 ②付加金	1,000 × 31 名(継続会員)	31,000	51,000		
		1,000 × 10 名(前期新入会員)	10,000			
	①基本額	20,000 × 1	20,000			
	埼玉ブロック負担金 ②付加金	6,000 × 31 名(継続会員)	186,000	266,000		
		6,000 × 10 名(前期新入会員)	60,000			
	国際協力基金	1,825 × 31 名(継続会員)	56,575	74,825		
		1,825 × 10 名(前期新入会員)	18,250			
日本JC出向者負担金	20,000 × 7 名		140,000	140,000		
	雑誌購読料 250円/2ヶ月(隔月発行)	1,500 × 31 名(継続会員)	46,500			
		1,500 × 0 名(1月入会)	0			修正
		1,250 × 1 名(2-3月入会)	1,250			修正
		1,000 × 8 名(4-5月入会)	8,000	68,500		修正
		750 × 17 名(6-7月入会)	12,750			修正
		500 × 0 名(8-9月入会)	0			修正
		250 × 0 名(10-11月入会)	0			修正
						5,453,826
経常費用計						9,118,826
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
中科目別記載						0
経常外収益計						0
(2) 経常外費用						
減価償却費						0
経常外費用計						0
他会計振替額						
当期一般正味財産増減額						1,483,858
一般正味財産期首残高				3,173,015		
一般正味財産期末残高						4,656,873
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等						0
一般正味財産への振替額						0
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高						
	150,000 × 1 2025年分		150,000			
	0 × 1 2026年分		0			
65周年積立金	0 × 1 2027年分		0	150,000		
(特定費用準備資金制度利用)	0 × 1 2028年分		0			
65周年 2029年度						150,000
周年費用差引 本会計						4,506,873

科目	2025年予算	2025年予算(第181回議会)	比較増減	小計に占める割合
経常増減の部				
(1) 経常収益				
I. 受取入会金	780,000	600,000	180,000	7.36%
受取入会金	780,000	600,000	180,000	
II. 受取会費	7,920,000	7,368,000	552,000	74.70%
正会員受取会費	4,404,000	4,404,000	0	
新入会員受取会費	1,896,000	1,344,000	552,000	
特別会員受取会費	120,000	120,000	0	
シニアクラブ会費収入	1,500,000	1,500,000	0	
III. 事業収入	782,500	700,000	82,500	7.38%
登録料収入	482,500	400,000	82,500	
広告料収入	300,000	300,000	0	
IV. 受取寄付金	982,100	1,100,000	△ 117,900	9.26%
寄付金収入	202,100	250,000	△ 47,900	
協賛金収入	580,000	650,000	△ 70,000	
補助金収入	200,000	200,000	0	
V. 雑収益	138,084	138,084	0	1.30%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	10,602,684	9,906,084	696,600	100.00%
(2) 経常費用				
I. 事業費	3,665,000	3,665,000	0	40.19%
II. 管理費	5,453,826	5,361,604	92,222	59.81%
通信・発送費	120,000	120,000	0	
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	366,000	366,000	0	
事務局賃借料	1,562,376	1,562,376	0	
ホームページ管理費	13,200	13,200	0	
会議費	132,700	132,700	0	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	970,200	970,200	0	
雑費	100,000	100,000	0	
広報費	314,850	314,850	0	
渉外費	8,000	8,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務委託費	136,600	146,600	△ 10,000	
諸会費	199,400	194,600	4,800	
手帳作成費	269,280	269,280	0	
J C I 負担金	109,395	80,223	29,172	
日本 J C 負担金	321,500	260,000	61,500	
関東地区負担金	51,000	51,000	0	
埼玉ブロック負担金	266,000	266,000	0	
国際協力基金	74,825	74,825	0	
日本 J C 出向者負担金	140,000	140,000	0	
雑誌購読料	68,500	61,750	6,750	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	9,118,826	9,026,604	92,222	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	1,483,858	879,480	604,378	
当期経常増減額	1,483,858	879,480	604,378	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
減価償却費	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,483,858	879,480	604,378	
一般正味財産期首残高	3,173,015	3,173,015	0	
一般正味財産期末残高	4,656,873	4,052,495	604,378	
特定費用準備資金制度運用 65周年積立金 2025、2026、2027、2028年分	150,000	150,000		

補正収支予算書
2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1)経常収益											
受取入金	0	0	0	468,000	468,000	0	0	312,000	312,000	0	780,000
受取会費	0	0	0	4,752,000	4,752,000	0	0	3,168,000	3,168,000	0	7,920,000
正会員受取会費	0	0	0	2,642,400	2,642,400	0	0	1,761,600	1,761,600	0	4,404,000
新入会員受取会費	0	0	0	1,137,600	1,137,600	0	0	758,400	758,400	0	1,896,000
特別会員受取会費	0	0	0	72,000	72,000	0	0	48,000	48,000	0	120,000
賛助会員受取会費	0	0	0	900,000	900,000	0	0	600,000	600,000	0	1,500,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収入	0	482,500	0	0	482,500	0	0	300,000	300,000	0	782,500
* 受取寄付金	0	982,100	0	0	982,100	0	0	0	0	0	982,100
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,084	138,084
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	0	1,464,600	0	5,220,000	6,684,600	0	0	3,780,000	3,780,000	138,084	10,602,684
(2)経常費用											
事業費	2,009,342	2,259,343	486,448	0	4,755,133	401,448	1,536,448	0	1,937,896		6,693,029
賃借料	320,000	700,000	55,000	0	1,075,000	45,000	150,000	0	195,000		1,270,000
諸謝金	100,000	250,000	0	0	350,000	0	0	0	0		350,000
印刷製本費	250,000	30,000	35,000	0	315,000	15,000	90,000	0	105,000		420,000

補正収支予算書
2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
参加記念品費	80,000	200,000	0	0	280,000	0	50,000	0	50,000		330,000
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
保険料	20,000	20,000	0	0	40,000	0	0	0	0		40,000
通信運搬費	0	10,000	10,000	0	20,000	0	60,000	0	60,000		80,000
振込手数料	50,000	40,000	10,000	0	100,000	5,000	70,000	0	75,000		175,000
通信・発送費	36,000	36,000	12,000	0	84,000	12,000	12,000	0	24,000		108,000
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
消耗品費	109,800	109,800	36,600	0	256,200	36,600	36,600	0	73,200		329,400
賃借料	468,712	468,713	156,238	0	1,093,663	156,238	156,238	0	312,476		1,406,139
ホームページ管理費	3,960	3,960	1,320	0	9,240	1,320	1,320	0	2,640		11,880
会議費	39,810	39,810	13,270	0	92,890	13,270	13,270	0	26,540		119,430
水道光熱費	60,000	60,000	20,000	0	140,000	20,000	20,000	0	40,000		180,000
給与手当	291,060	291,060	97,020	0	679,140	97,020	97,020	0	194,040		873,180
管理費											
通信・発送費										12,000	12,000
什器備品費										0	0
消耗品費										36,600	36,600
賃借料										156,237	156,237
ホームページ管理費										1,320	1,320
会議費										13,270	13,270
水道光熱費										20,000	20,000
給与手当										97,020	97,020
雑費										100,000	100,000
広報費										314,850	314,850
渉外費										8,000	8,000
慶弔費										30,000	30,000

補正収支予算書
2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
事務委託費										136,600	136,600
諸会費										199,400	199,400
手帳作成費										269,280	269,280
JCI負担金										109,395	109,395
日本JC負担金										321,500	321,500
関東地区負担金										51,000	51,000
埼玉ブロック負担金										266,000	266,000
国際協力基金										74,825	74,825
日本JC出向者負担金										140,000	140,000
雑誌購読料										68,500	68,500
減価償却費										0	0
経常費用計										2,009,342	2,259,343
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,009,342	△ 794,743	△ 486,448	5,220,000	1,929,467	△ 401,448	△ 1,536,448	3,780,000	1,842,104	△ 2,287,713	1,483,858
当期経常増減額	△ 2,009,342	△ 794,743	△ 486,448	5,220,000	1,929,467	△ 401,448	△ 1,536,448	3,780,000	1,842,104	△ 2,287,713	1,483,858
経常外増減の部											0
(1)経常外収益											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用											0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
* 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,009,342	△ 794,743	△ 486,448	5,220,000	1,929,467	△ 401,448	△ 1,536,448	3,780,000	1,842,104	△ 2,287,713	1,483,858
一般正味財産期首残高										3,173,015	3,173,015
一般正味財産期末残高											4,656,873
正味財産期末残高											4,656,873

- 審議－４ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 中村 光彦 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－５ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 飯嶋 大祐 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－６ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 伊藤 孝弘 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－７ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 細野 信隆 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－８ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 上原 康太 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－９ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 大山 涼太 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１０ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 小松 将人 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１１ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 廣瀬 秋馬 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１２ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 内田 爽 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１３ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度理事 持田 圭佑 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１４ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度直前理事長 瀬川 智広 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１５ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度監事 永井 光義 君 選任（案）承認に関する件
- 審議－１６ 公益社団法人川口青年会議所
２０２６年度監事 廣瀬 翔 君 選任（案）承認に関する件

2026年度 役員（案）

役 職 名	氏 名
理 事	中村 光彦
理 事	飯嶋 大祐
理 事	伊藤 孝弘
理 事	細野 信隆
理 事	上原 康太
理 事	大山 涼太
理 事	小松 将人
理 事	廣瀬 秋馬
理 事	内田 爽
理 事	持田 圭佑
直前理事長	瀬川 智広
監 事	永井 光義
監 事	廣瀬 翔

審議－ 1 7 公益社団法人川口青年会議所

2026年度理事長候補者選出（案）承認に関する件

審議－ 1 8 公益社団法人川口青年会議所

2026年度組織図（案）承認に関する件

組織図 (案)

☆印はスタッフ会議メンバーとする

審議－ 19 公益社団法人川口青年会議所

法人格の選択（案）承認に関する件

法人格の選択（案）に至る経緯

【第1・2回オープン委員会】公益社団法人と一般社団法人の違い、移行した他LOMの話

川口青年会議所では、本会にとって最も適した法人格の在り方を検討するため、2回のオープン委員会と1回の例会を通じて学びと議論の機会を設けました。

まず第1回・第2回オープン委員会では、公益社団法人と一般社団法人の違いや、それぞれのメリット・デメリットを整理し、熊谷青年会議所・秩父青年会議所の法人格移行事例を学びました。熊谷青年会議所では、公益から一般へ移行しても運動への影響はなく、むしろ対外事業が活発になったとのこと。秩父青年会議所では手続き上のミスから追徴課税を受けるという注意事例が共有されました。公益社団法人は税制優遇や社会的信頼の高さといった利点がありますが、事業の制限や厳格な財務基準、毎年の行政提出書類や監査対応といった事務負担があります。一方、一般社団法人は、税制優遇はないものの、事業内容や資金活用の自由度が高く、維持条件も緩やかです。令和7年4月の法改正により、公益法人でも収支管理や事業変更の手続きは簡略化される一方、外部役員導入や三分区経理の義務化など、ガバナンス強化に伴う負担は増加します。

【5月第一例会】「法人格選択会議～今後どうなるじゃなくてどうする、川口青年会議所～」

5月第一例会では、事前配信資料とクイズ形式の学びを行った後、「川口青年会議所に相応しい法人格は公益か一般か」をテーマにグループディスカッションを実施しました。

その結果、参加したほぼ全員（21人中20人）が「一般社団法人が望ましい」と回答。背景には、活動の自由度や柔軟性を確保し、限られた人的・時間的資源を事務処理ではなく本来の事業活動に集中させたいという意見があります。

3. 今後の川口青年会議所の法人格について、現在どのように考えますか。

21件の回答

（2025年度5月第一例会参加者アンケートより抜粋）

【まとめ】

これらの議論を踏まえ、川口青年会議所としては、持続的かつ戦略的な運営を可能にし、地域ニーズや時代の変化に即応できる一般社団法人への移行を推奨します。

審議－ 20 公益社団法人川口青年会議所

第57回ブロック大会主管立候補（案）承認に関する件

2025年 7月12日

公益社団法人日本青年会議所

関東地区 埼玉ブロック協議会

会 長 小船 隆一 殿

公益社団法人川口青年会議所

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会
2027年度 第57回埼玉ブロック大会 主管立候補事前届出書

立候補青年会議所	認証番号	第 290 号
	公益社団法人川口青年会議所	
住 所	〒333-0844 埼玉県川口市上青木3丁目12番18号 埼玉県産業技術総合センター7階	
電 話 番 号	TEL	(048)263-3350
ファックス番号	FAX	(048)263-3351
理 事 長 名	瀬川 智広 印	

公益社団法人川口青年会議所は、2027年度第57回埼玉ブロック大会の開
催立候補に関し、所定の書類を添え事前の立候補届出を致します。

立候補青年会議所調査票

立候補青年会議所名	公益社団法人川口青年会議所
事務局郵便番号	333-0844
事務局住所	埼玉県川口市上青木3丁目12番18号 埼玉県産業技術総合センター7階
事務局電話番号	048-263-3350
事務局ファックス番号	048-263-3351
事務局メールアドレス	office@kawaguchi-jc.or.jp
理事長名	瀬川 智広
設立総会年月日	昭和39年12月19日(1964年)
承認年月日	昭和40年10月10日(1965年)
承認番号	第290号
スポンサーJ C	公益社団法人埼玉中央青年会議所
法人格取得年月日	昭和48年7月5日(1973年)
大会誘致に関する担当窓口	専務理事
担当者氏名	赤羽 孝太
担当者連絡先	048-263-3350
担当者電話番号	070-6468-5143

担当者ファックス番号	048-263-3351
担当者メールアドレス	akahane3.0@nifty.com

【立候補を目指す背景】

川口青年会議所は現時点で20名を超える拡大が成功しており、入会3年未満の会員の割合は80%となります。これは会員拡大が成功したことに他ならない反面、入会が浅いメンバーの定着、出席率の向上等が現在の川口青年会議所の課題の一つとして挙げられます。

そのような状況の中で埼玉ブロック大会の主管を受けることは、メンバー資質の向上のために欠かせない「機会の提供」となり、大きな事業に立ち向かうなかでメンバーそれぞれがJAYCEEとして成長する、そして川口青年会議所がLOMとして成熟する大きなチャンスとなり得ると考えます。

さらに、川口青年会議所は、埼玉ブロック大会の第1回大会を主管したという歴史的な実績を持ち、その歩みはまさに埼玉の青年会議所運動の礎を築いてきたと言えます。このような伝統と誇りを次世代に継承していく意味でも、再び主管の大役を担うことには大きな意義があります。

また、埼玉ブロック協議会の資金とマンパワーを活かすことができるブロック大会を利用することで、地域の発展に寄与するとともに川口青年会議所の認知度向上にもつながる事業を実施し得ること、また近年注目されているパートナーシップを意識することで、今後の事業展開にも資する他団体との協力体制を構築することにもつながると考えられます。

そして、ブロック大会を経たメンバーが、その経験と生まれた情熱を活かし、ブロック大会の力を借りなくてもLOMとして事業に、会員拡大に更に大きな力を発揮していく礎となれると考え、2027年に開催される第57回埼玉ブロック大会へ主管立候補を計画致しました。

【事業実施の目的】

- ・ 川口青年会議所メンバーの成長
- ・ 川口青年会議所のブランド力向上
- ・ 埼玉ブロック大会第1回大会を主管した川口青年会議所としての誇りと責任を再認識し、先輩方が築いてきた歴史と伝統を次世代へ継承すること

【事業実施における効果】

- ・ 埼玉ブロック大会という大きな事業の構築・設営を成功させたという経験が自信となり、今後の運動においても大きなチャレンジをしていこうという機運が生まれる点。
- ・ 規模の大きな事業を川口において実施することで行政や諸団体との協力関係が強固となり、また市民に対しても川口青年会議所の認知度を上げられる点。
- ・ ブロック大会を通して更に青年会議所の魅力を実感することで、会員拡大をしていこうという意識をメンバー1人1人が持てるようになる点。
- ・ かつて第1回埼玉ブロック大会を主管した川口青年会議所が再び主管を担うことで、原点回帰の機運が生まれ、青年会議所運動に対する自覚と誇りを醸成する効果が期待できる点。

公益社団法人川口青年会議所 2025年6月第一例会

メンバーアンケート集計表

アンケート1は氏名

アンケート2

大会に参加して埼玉ブロック協議会の運動のスケールメリットを体感出来ましたでしょうか。

15件の回答

アンケート3

質問2で回答した理由や感想をご記入ください。

- ・ 広すぎて分かりづらさもあったと思う。
- ・ ロムを超えて設営、朝の誘導で市民との会話から関心の強さを実感
- ・ 規模感がすごいと思いました
- ・ 会場の規模感
- ・ 運営で携わって、あらゆるLOMが力を合わせていた
- ・ ブロックだからこそできたかつてないスケール
- ・ たくさんの方と交流ができました
- ・ 大きな会場で、偉い人を呼んで、市民も巻き込んで、すごく大変そうだなと思いました。
- ・ 違うロムと協力しあって事業達成する事が素晴らしいと思った。
- ・ ここ最近のブロック大会で最も動員人数が多い大会でした。また会場内の事業は幅広い年齢に対応しており全ての方々が何かしらのブースで楽しめたと思います。
- ・ 規模が大きかった
- ・ 今回は本当に圧倒的なスケール、参考にする事は多々ありました。
- ・ 講師話を聞いてとてもわかりやすかった
- ・ スケールメリットの意味がまだよく理解できていないので、的外れな感想になっていたら申し訳ございません。ブロックの垣根を越えて一丸となって「より良い大会にしよう」という思い大会をつくっているんだということをととても実感しました。参加しなければ感じられなかったことがたくさんあり、本当に参加して良かったと思います。
- ・ セクのためあまり見れなかった。

アンケート4

大会のテーマ「健幸」「ウェルビーイング」を感じ、その重要性を知ることは出来ましたか。

15件の回答

- とても感じ、知ることが出来た。
- 少し感じ、知ることが出来た。
- あまり感じ、知ることが出来なかった。
- 全然感じ、知ることが出来なかった。

アンケート5・6

※出向メンバー用

今回出向してみてもいかがだったでしょうか。

感想や学べたことををご記入ください。

(質問5か6の該当の方にお答えいただき、もう一方は「無し」とご記入ください)

- ・大変さもあるけど、達成感があった。
- ・設営、やりがいがありました。
- ・楽しかったです
- ・楽しかった。出向の魅力がわかった気がします。
- ・多くの仲間や企業とつながることができ、より大きな事業の実施へとつなげることができた。
- ・ブロック大会の概要がわかりました。
- ・中々委員会に参加できず、グループLINEも流してしまっていたので当日ゲストからの問い合わせに全く反応できなかった。
- ・ブロック大会のやり方を少しは理解できた
- ・他地域の仲間とあれこれ力を合わせてトラブルも乗り越えて絆が深まった。
- ・人数の配置など足りないところがあったりしたのでまた出向する機会があれば次に活かしたいと思いました。
- ・むずかしい。

※未出向メンバー用

今大会を通じて学べたこと、出向に興味を持つことが出来たかを記入ください。

(質問5か6の該当の方にお答えいただき、もう一方は「無し」とご記入ください)

- ・少しではありますが興味を持つことができました
- ・事業の規模感に関係なく、開催するにあたり人員の適正人数確保をすること。
- ・出向楽しそうだなと思いました。

- ・改めてブロック出向はいいと思いました。
- ・興味を持つことができました。

アンケート7

ブロック大会川口大会を開催するとしたらどのような大会にしたいでしょうか。

- ・わかりやすい、伝わりやすい感じにして欲しい。
- ・駅～西公園をJC一色にするくらい高濃度な大会
- ・川口らしい大会ができればと思います
- ・御成や鋳物なども絡めながらの大会
- ・他LOMとも積極的に交流をはかり、川口JCはもちろん、他LOMにこそ印象に残るものにしたい。
- ・川口の魅力や色を最大に発信するとともに地域や県内の企業とも連携した事業を行なってほしい
- ・川口らしさを全面に
- ・川口をめいっぱい楽しんでもらえる大会。
- ・盛り上がる大会
- ・できる範囲でコンパクトな大会にするほうがいいと思いました。
- ・関わる人全てに達成感があるような大会にしたい
- ・広報チームを細分化してとにかく徹底的な広報活動を行い 地域にわれわれの圧倒的な存在感を示せる 圧倒的な動員を掲げたいと思いました。
- ・地域の方が気軽に参加できてこれでよかったと思われるような大会にしたいです。
- ・当日とても暑く熱中症のような症状が出た方もいたかと思います。積極的な水分補給の声掛けなど些細ですが参加者への体調の気配りがもっとできれば良かったと感じました。謎解きの参加者が少なかったので、もっと周知してもらおう動きをするべきだったかなと感じました。改善し、よりよい大会をつくれたらいいなと思います！
- ・みんなが楽しめるもの

2026年度参考資料

「不撓不屈」

～挑戦し続ける JAYCEE であれ～

基本方針

1. 全員を巻き込む拡大
2. 次世代を担う JAYCEE の育成
3. 時代を捉えた徹底的な広報と厳格な組織運営
4. 非認知能力を育む青少年育成事業

【はじめに】

「迷ったら困難な道を選べ」私が何か挑戦するか否かの岐路に立たされたときに必ず意識している言葉です。私は川口青年会議所で多くの成長の機会に挑戦し、一貫して諦めることなく試練を乗り越え、誰よりも人を巻き込んでいけるリーダーとなりました。なぜ進んで困難な道を選択し、挑戦し続けてきたのか。私を突き動かす原動力、それは困難を乗り越えた者のみが得ることができる自己成長の喜び、さらに心を震わせる先輩諸兄姉とのご縁、そして、支え合い困難を乗り越えてきた仲間たちとの出会いに心より感謝しているからに他なりません。私は川口青年会議所に、このまちに恩返しをしたいのです。

楽な道に成長無し、成長の機会とはつまり困難な道です。それでも私はあなたに挑戦してほしい。諦めずに強い信念をもち試練を乗り越えたとき、その経験が今後の人生で必ずあなたを守ってくれる盾となるのです。

【不撓不屈】

奉仕・修練・友情の三信条を掲げる青年会議所の活動は決して楽ではありません。よって瞬間的ではありますが、時として仕事、家庭の時間を使って世のため人のため、明るい豊かな社会の実現のために行動しなくてはいけない場面が

あります。そのような修練から逃げ、諦めて楽をしようと思えば楽な道を作ることも出来ますが楽な道に成功、成長は存在しないのです。少し厳しい言葉かもしれませんが、楽をすること自体が単なる JC ごっこであって、より良い社会の実現など到底成し得ないのです。

誰でも困難な道に挑戦するというのは勇気が必要です。ですが、恐れる必要はありません、あなたの挑戦は一人ではないからです。各地域では時を同じくして多くの青年世代が困難な道を歩んでいます。また、あなたが挫けてしまいそうになったら隣にはあなたを支えてくれる仲間がいます。そして、地域の課題を解決するために、時代を駆け抜け歴史を築いた先輩諸兄姉がいるのです。

今こそ不撓不屈の旗を掲げ、「諦めずに必ずやり遂げる」という強い意志を持ち、困難にひるむことなく挑戦することで、このまちに新たなリーダーが生まれ、必ず社会により良い変化をもたらすことができるのです。

【全員を巻き込む拡大】(JAYCEE プライドの確立)

JAYCEE として地域の課題を解決することに挑戦し、大きな運動を起こすには一人でも多くの仲間たちが必要であるという考えのもと、例年会員拡大は最重要課題に置かれてきましたが、川口青年会議所は昨年拡大目標を達成することに成功し、本年は期首 50 名以上のメンバーでスタートを切ることができました。しかし同時に卒業していくメンバーが例年に比べ多い年度でもあります。よって、拡大を成功させた勢い、潮流を絶対に止めるわけにはいきません。そのために全員を拡大運動に巻き込み、拡大率 33% 以上の会員拡大に挑戦します。

全員を巻き込む拡大として、担当委員会は、毎月開催する委員会を拡大会議とし、テーマを全て決めていただきメンバーを会議に動員する事でメンバーの拡大に対する意識をより高めていただきます。また、全ての組織図に対して明確な拡大目標を決めていただき確実に拡大に繋がります。そして、川口青年会議所が持つ全てのつながりを駆使するだけでなく、入会間もないメンバーにいたるまで巻き込み多くの拡大対象者を動員し、青年会議所の魅力が対象者に伝わる例会を設営していただきます。さらに、対象者とメンバーが交流を通し入会に繋げるために年 3 回以上の交流会を企画していただきます。

掲げた拡大目標を必ず達成し、川口青年会議所がさらに大きな運動を巻き起こしていく、それこそが JAYCEE プライドの確立につながるのです。

【次世代を担う JAYCEE の育成】(JAYCEE プライドの確立)

入会間もないメンバーは JAYCEE として地域のために活動している事は分かりますが、青年会議所活動における、仕組みや動きが分からないので成長の機会を掴むチャンスが来ても前向きになれていないのが現状です。まずはベテランメンバーに委員会に参加していただき、「委員会内 JC 塾」として年 5 回以上実施していただきます。青年会議所の魅力はもとより、JAYCEE としての徹底したスケジューリングなどの行動、議案構築の基礎、実務的な基礎知識、川口青年会議所が誇る厳格な設営に至るまで、毎回目的を決めていただき、「成長特化型」の委員会運営に挑戦します。そして、委員会で学んだことを活かし実践する場として、新春祝賀会、献血会、じゃがいもゴルフコンペ、親睦会、卒業式・忘年会を企画から設営まで担っていただきます。

実践で得た経験や達成感こそ自己成長の喜びの第一歩となります。さらに日本、関東地区、埼玉ブロックの事業に参加していただき青年会議所のスケールの大きさを体感してもらうことで JAYCEE としての誇りを持ち、進んで成長の機会を掴み取ることができる次世代のリーダーが生まれるのです。

【時代を捉えた徹底的な広報と厳格な組織運営】

・時代を捉えた徹底的な広報 (We are 川口 JC!) (川口ブランドの創造)

近年、社会の情報発信、広報活動においては SNS が非常に大きな影響力を持ち、それが主流となっています。LOM としても例年 SNS を駆使した広報活動に力を注ぎフォロワー数は年々増加傾向にあります。私たちが川口青年会議所である」と、さらに強く多くの人々に認知していただくために、年間を通じた広報計画を構築していただきます。そして、川口青年会議所の活動だけでなく川口市内の魅力的なスポットを発掘し、最新の流行や時代を捉えた動画配信を主体とした徹底的な情報発信に挑戦します。さらに川口青年会議所の公式 SNS におけるフォロワー数の底上げ、認知向上が図れたのかを検証していただきます。これらの取り組みにより、川口青年会議所の発信力、影響力を徹底的に強化することで今後、私たちが起こす全ての運動の確固たる基盤が築かれるのです。

・厳格な組織運営

資料配信期限を遵守した理事会の設営、ホームページの管理、JC ルームの備

品管理、予算の管理、法人として必要な手続き、年3回の総会の設営を担っていただき、厳格な組織運営の範たる委員会運営を実践していただきます。また次世代のリーダーが迷わずに LOM の総務を担えるように新たに「次年度引き継ぎマニュアル」を作成していただきます。

これらの見えにくい部分こそ組織として非常に重要な屋台骨であり、歴史ある厳格な設営を薄めることなく私たちの誇れる伝統として今後も受け継いでいく必要があります。

【非認知能力を育む青少年育成事業】(かわぐちびとの創出)

まちの未来を担うこども達が健やかに成長していくために、地域の大人が協力し力を注ぐことは責務であります。川口市のこども達を取り巻く課題は多岐にわたり、川口市としても全てのこども達の健やかな成長を目指し、令和6年施行の「川口市子どもの健やかな成長のための支援に関する条例」を踏まえこどもの成長に関する様々な計画を一体化し、令和7年度を初年度とする5か年計画「こども未来計画」を策定しました。

こども達の健やかな成長において、近年その重要性が認識されている「意欲」「協調性」「やりぬく力」これらの数値化する事が難しい能力の育成、こども達の非認知能力を育むことに挑戦します。加えて、こども達の成長の為に、保護者だけではなく地域の大人達にも明確な担いを与えていただき、我々の取り組みに参加していただきます。また、設営に参加していただく以外にも、多くの市民が我々の運動に自然に触れることができるような事業を構築していただきます。

地域貢献活動に触れ、関わることでそれが地域をより良くしようと踏み出した第一歩となり、まちをもっと良くしていこうと行動する市民の創出につながるのです。

【おわりに】

単年度制である青年会議所活動において一年間の運動展開で果たして目の前の地域の課題が本当に解決できるのか、私は入会当初より疑問に思っておりました。しかし、課題を解決するために日々本気で議論し「地域のため」「未来のため」と、いままでの私には縁のなかった利他の精神で活動してきた先輩諸兄姉や仲間の背中を見ているうちに、地域の課題解決に向けて歩みを止めずに

挑戦し続ける事にこそ意味があると気が付きました。

それは青年会議所のなすべき使命が世界共通で「社会により良い変化をもたらすリーダーシップの開発」だからです。青年会議所は止めることの出来ない巨大な渦のように長きにわたり、青年世代を社会のリーダーにするべく開発を続けてきました。だからこそ、40歳までの限られた時間を過ぎ青年会議所を飛び出したとしても利他の精神というものは消えないのです。

そして、私たちが「点滴岩をも穿つ」という言葉のように、一步一步、決して諦めることなく JAYCEE としての使命に挑戦し続けることで、必ずや岩を穿つ日、つまり地域により良い変化をもたらすリーダーが生まれ、明るい豊かな社会を築き上げることが出来ると確信しています。

公益社団法人 川口青年会議所 2026年度

役員組織図 (案)

☆印はスタッフ会議メンバーとする

育 L O M 宣言

「育LOM」認定には
瀬川理事長の
宣言が必要です！

埼玉県内では
24/29LOMが
認定済みです！

9月総会で
「育LOM」
宣言！

LOMメンバーの協働や仕事、育児を全力で応援します！

育LOM宣言6ヶ条

- 私たちはメンバーそれぞれの多様なライフステージを尊重し、育児や家庭を優先する事への理解を示します。
- 私たちは、メンバーが家族と過ごす時間を増やすために、効率の良い組織運営を心がけます。
- 私たちは、IT等の先進的な技術を積極的に活用し、事業や会議等へのメンバーの多様な参画方法を模索します。
- 私たちは、出産や育児で休会等を行っていたメンバーが復会しやすい環境を作り、温かく迎えます。
- 私たちは、メンバーご家族のJC運動に対する継続的な理解を心がけ、そのための取り組みや情報発信を推進します。
- 上記5ヶ条を理事長はじめ役員が率先して実践し、LOM全メンバーの共通の意志としてここに育LOM宣言を行ないます。

メンバーが一同に会する例会等で、LOMの全メンバーの共通の意志として、宣言を行なってください。

育LOM
認定取得
条件①

育LOM5つの取り組み

① Family Day

LOM全体でJC活動ができていることを感謝し、家族に感謝を表すための一日をつくる

② スマート会議

(WEB会議の導入、時短会議の設定、会議終了時刻の遵守、議事進行方法の工夫、事前準備の徹底)

③ 子連れJayceeへの^{しんしゃく}斟酌

託児制度、子連れ参加等

④ JCに対する家族と会社の理解を促進する事業や取り組みの創出

⑤ 誰でも産前産後育児休業制度の導入

男女問わず・会費全額or一部免除

育LOM 認定取得 条件②

5つのうち、
3つ以上の取り組みを
行う必要があるが
川口青年会議所は
①②③をクリアしている

～5月第一例会後のアンケート結果①～

10. プレゼンの中でどのような点が役に立ちましたか？

(一部抜粋)

- あとは理事長宣言だけで要件を満たす。
- 育LOMは女性側から見ても良いと思う。女性の活躍も増える気がする。
- 男性の育休も取れるという素晴らしい取り組みだと思いました。
- 育LOM認定されているLOMが想像以上に多かった。
- 家族がいるメンバーも活躍できる場を作りたいと思いました。
- 育LOMがあること自体、初めて知りました。
- 子どもがいる家庭に優しい！

～5月第一例会後のアンケート結果②～

11. 「育LOM」認定取得について、現在どのように考えますか。

21件の回答

- 賛成である
- 反対である
- 認定を取っても、特に何かをやるわけではなく、今までと同じなのであれば、取って取得する必要もないのかな、とも感じます。ただ、オンラインミーティングや育休は絶対に取り入れたいです。

～育LOM認定までの道のり～

2025年05月	例会にて育LOMについて発表	済
2025年09月	総会にて瀬川理事長より「育LOM」宣言	予定
2025年10月	日本青年会議所へ「育LOM」認定の申請	予定
2025年12月	日本青年会議所より「育LOM」認定	予定
2026年01月	新たな川口青年会議所の活動が始まる！	